

令和5年度福井県地域訓練実施計画の策定に向けた方針

1 訓練実施規模

令和4年度と同程度の規模で実施する。

2 重点分野

デジタル分野等の成長分野や人材確保が困難となっている介護等の分野とする。

3 地域の実情を踏まえた訓練コースの設定

(1) 配慮を必要とする者が受講しやすいコースの設定

子育て中の者や介護をしている者が受講しやすい訓練時間を短くしたコースの設定等により、これら配慮を必要とする者の活躍を推進する。

(2) 中高年齢者向けコースの設定

求職者に占める中高年齢者の割合が増加していることに鑑み、中高年齢者のニーズを反映しつつ、就職につながるよ

うな訓練コースを設定する。

(3) 定住外国人向けコースの設定

定住外国人が増加傾向にあることから、定住外国人向けの訓練コースを設定する。

令和５年度福井県における求職者支援訓練の実施計画策定について

１ 訓練実施規模・就職率目標

令和５年度の概算要求では令和４年度から引き続き高い訓練規模となっているため、現時点で厚生労働本省より示されている認定数である**４８７人**（令和４年度と同規模）を福井局の認定数とする。

また、雇用保険適用就職率目標は例年と同様に基礎コース**５８％**、実践コース**６３％**とする。

２ 基礎コースと実践コースの割合

基礎コース**３０％**程度（**１３５人**）、実践コース**７０％**程度（**３５２人**）とする。

３ 実践コースの重点を置くべき訓練分野の下限設定

重点を置くべき訓練分野として、デジタル分野下限**１０％**程度、介護分野下限**１０％**程度とする。

4 地域ニーズ枠の設定

令和5年度も引き続き、子育て中の者のための託児サービスを附帯し、訓練時間を短縮した「リカレント教育訓練」を設定する。訓練認定規模の17%以内で設定する。

5 その他

デジタル分野等の成長分野や新型コロナウイルス感染症の影響等により人材確保がより困難となっている介護等の分野・職種に重点を置くとともに、地域における産業の動向や求人ニーズを踏まえた訓練コースの設定となるよう努める。

主に中高年齢者を対象としたような訓練コースを設定するよう努める。

また、就職氷河期世代の者のうち不安定な就労に就いている者や無業の者など安定した職業生活に移行させるため、当該者の特性や訓練ニーズに応じた職業訓練の設定に努める。